

備前市事務事業評価表

事務事業名	国際交流事業		コード	担当課	企画課 企画振興班
			05-02-01-01	担当者	川平昌彦
事業実施期間	平成17年度				
総合計画 事業（政策）体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり			
	中項目	ふれあい豊かなまちづくり			
	小項目	地域間・国際交流			
	施策	外国人との交流の促進			
電話	0869-64-1871				

事業について	新市記念事業として、旧吉永町の姉妹町(オーストラリア・クレア&ギルバートバレー町)へ市内在住の青少年を派遣、旧日生町の文化交流協定先(韓国・蔚山市東区)との派遣・受入れ事業により、人々との交流や各地の視察を通じて国際感覚を養い、国際理解を深める。				
目的	【韓国】市内在住の小学生5・6年生、【オーストラリア】市内在住の中学・高校生				
対象(誰のために)	ホームステイによる生活体験、学校等の訪問、現地の人々との交流、日本や備前市を紹介するための諸活動				
内容					

事業の結果	17年度					
実施項目	回数など (単位)		回数など (単位)		回数など (単位)	
オーストラリア派遣人数	23 人					
韓国派遣人数	20 人					
オーストラリア派遣日数	14 日					
韓国派遣日数	3 日					
韓国児童受入れ人数	28 人					

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,777	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	4,790	受益者負担	2,950	人件費		受益者負担	
	合計	7,749	市債		合計	0	市債	
		一般財源等	4,799	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.65 人						
結果指標①	結果指標名	オーストラリア派遣人数					
	結果指標量	23					
	単位	人					
	対前年比	0.00%					
結果指標②	事業費	5,776,666 円					
	単当たりコスト①	251,159 円					
	結果指標名	韓国派遣人数					
	結果指標量	20					
		1,253,440 円					
		62,672 円					

事業の成果	国際理解満足度(人数)			式又は説明	国際交流事業に参加した青少年・家族の満足度
成果指標名	17年度				
成果指標量	270				
対前年比	0.00%				
到達目標値	ほぼ270	到達目標年度	17年度		

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	課題認識 異文化理解、ネイティブな英語力を習得できる、オーストラリアへの派遣事業には応募者も多く、抽選をするほどであった。しかし、韓国派遣・受入れ事業は、外交問題の影響もあり応募者数が目標には達しなかった。両国とは姉妹縁組、文化交流協定を締結しているため、本市が関与する必要があるが、今後は地域団体の備前市国際交流協会が事業の実施主体となる方が、理想的である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	旅行費用(飛行機等移動手段)に最も経費を費やすが、ホームステイ中心のため宿泊経費が削減されている。市の企画旅行のため、旅行社のパッケージツアーではないため、一人あたりの経費としては妥当である。また、見積書も3社以上から徴している。両国の職員(担当者)の意見が行程に反映されている。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	事業終了後、参加者に感想文を書いてもらい、また、事後報告会として生の意見も聞き、ほぼ全員参加者とその家族からは満足いただけた。今後は、スケジュールの計画段階で参加者の意見を取り入れることが必要と思われる。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	コメント	評価区分
	オーストラリアとの交流は積極的な参加者は多いが、韓国との交流には言葉の壁と外交問題から参加者数が少ない。ひと夏で派遣と受入れ事業を行っているため職員の事務量が大きい。	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①		結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性		隔年での派遣・受入れ事業とし、長期間、国際交流に携わる事業とす	毎年	国際感覚豊かな人材の育成。経費削減。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。